

2024 年度「豪 マリオン・フリンダース地域交流プログラム」成果報告

【研修概要】

(1) 研 修 校: フリンダース大学アカデミー

(2) 研修期間: 2025 年 2 月 8 日(土)～2 月 23 日(日)(16 日間)

(3) 研修参加者数: 13 人・引率者 1 人(2 月 15 日～2 月 22 日)

(4) 事前オリエンテーション

- ・第 1 回 11 月 14 日、第 2 回 1 月 15 日、第 3 回 1 月 29 日

海外研修に参加する前の参加目的と目標の確認、ホームステイや語学研修を行う際の心構え、
海外渡航危機管理・安全指導、訪問国や研修先についての知識習得

- ・事前研修 1 月 29 日、1 月 30 日

英語による事前研修、リスニング・スピーキング力強化

- ・事後研修 3 月 3 日「フィードバック・成果報告会(1 人 8 分程度)」

フリンダース大学アカデミーやホームステイ先での滞在を通し、英語の4技能の向上を目指す
同時に、地域の学生や一般の人々との交流を行うことで、オーストラリアの文化や社会についての理解を
深める

(5) 到達目標

- ・マリオン市、フリンダース大学、地域の人々との交流を通じて、実践的な英語力を養成するとともに、オーストラリアの社会、文化、歴史について学ぶ
- ・本学における国際交流活動の柱である多文化共生力の強化を目指し、国際理解に役立てる
- ・自分自身について英語で発信することができるようにする

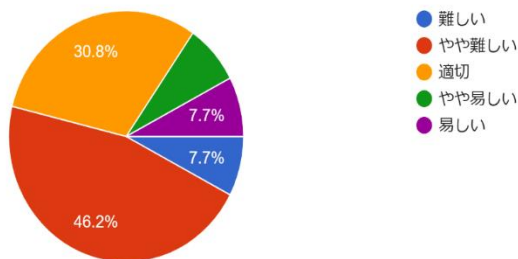


【研修成果】

- ・英語リスニング力が身についたと思います。
- ・リスニング力、コミュニケーション力。
- ・異文化理解、英語を聞き取る力、アデレード市の魅力的な場所。
- ・自分の英語力が不足することがわかった。しかし、英語に触れる時間が増えることで、だんだんと言っていることが理解できるようになってきた。自分の英語力では特に自分の思ったことを英語に変えて喋るという行為ができなかったので、スピーキング力を鍛えていきたい。
- ・拙い英語であっても、英語が伝わることがわかり、自信につながった。
- ・異文化理解力、英語リスニング力、行動力、向上した。
- ・2週間という短い期間ですが、授業と一緒に受ける日本人メンバーとはもちろん、ホストファミリーとの仲も徐々に深まっていったように感じました。ホストファミリーとの会話では、自身の拙い英語力でも理解しようと頑張ってくれるので、積極的に話しかけるように心掛けました。
- ・英語能力、スピーキングやリスニング力が上昇した。異国文化を知ることで視野が広がった。
- ・統率力、頼る力、異文化理解、価値観の再構築、英語力の向上、積極性の向上、コミュニケーション能力の強化。
- ・異文化理解と英語力の向上。
- ・英語のスピードに慣れたり会話の返し方など英語力が少し向上した。
- ・英語コミュニケーション力、海外でのお店の対応など。
- ・初めての海外であるため異文化に触れて理解を得られました。

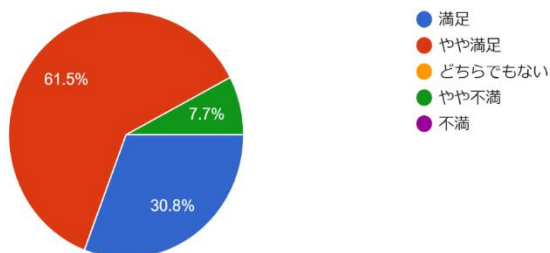
英語の授業のレベルはいかがでしたか。

13 件の回答



英語の授業に満足していますか。

13 件の回答



【英語の授業について】

- ・長文読解の学習で全文翻訳機を利用している生徒がいました。全体的に英語力を向上させようとしている生徒とそうでない生徒の差が気になりました。
- ・全部英語だから理解するのが難しい
- ・座学中心だったのでスピーキングの機会が増えるのとよりよいと思った。
- ・もう少し会話をするような時間があつたらいいなと思った。

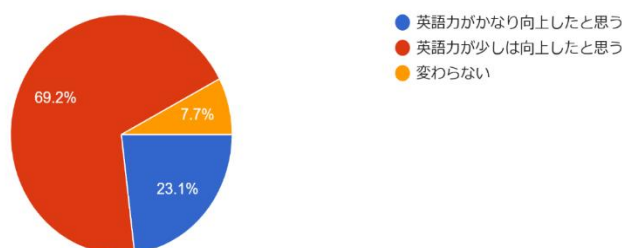
【現地の授業・研修全般について】

- ・英語学習という目的があるため、生徒がアウトプットする形で授業を組んだ方がよいと考えました。全生徒が英語で発表したり、意見を述べたりと英語力に差があるのは当然ですが、全生徒に機会を与える形にしたらよりよいと感じました。
- ・2週間は思ったよりもあっという間に過ぎてしまうので、放課後の時間を有意義に使うことが大切だと感じました。メトロカードを使えばバス、電車、トラムに乗り放題なので、行ってみたい場所やお店を事前に調べておくことで、時間を有効的に使うことができると感じました。
- ・自分自身は研修を楽しく学びある物にする事が出来たが、ホームステイ先のペア間の相性、待遇がよくないホストファミリーに当たるといったメンバー間での差が大きいと感じた。ある程度は仕方がない部分ではあるが対策次第で多少改善されると考える。
- ・ホームステイ先のペアについては、研修に向かうまでメンバー全体で話す機会が与えられれば、少しは改善されるのではないと思う。話を座って聞く機会と英語だけの空間でしか過ごせなかったため、一定の人間しかコミュニケーションがとりにくく、グループにわかれてしまっていた。また人によっては学年が違っていると距離が生まれてしまいやすいと感じた。改善するためには日本語での顔合わせや、何かしら全体でコミュニケーションをとる機会が必要になると考える。
- ・ホームステイの問題は現地で相談をする事はとても勇気のいる事だと思う。向こうとこの件についてはコミュニケーションをとり、相談をしやすい環境を強化するなど何かしらの対策はするべきだと思う。また特に感じた点として研修全般のリーダーの負担が大きすぎると感じた。具体的には英語力や集団をまとめる行動など。英語力に関してはどうしようもない部分だとは思いますが、応募者が研修に求めている部分が全体でずれていると集団としてまとまらなくなり、リーダーの負担が肥大してしまうと感じた。立候補制でないのに一人の負担が大きくなってしまふのは違うと感じた。また帰りの説明がなさすぎると感じた。来たことのない空港で送迎のバスが予定より遅れた中で、全員分の手続きや導く事は大変であった。これらの問題を解決に近づけるにはサブリーダーの役職を作る事や、帰りの空港のチェックインや保安検査などの必要な事を記載してメンバーにあらかじめ理解をしてもらう事が必要であると感じた。
- ・今回は留学生との交流ができたが、現地との学生との交流が全くなかったです。どうやら時期があと一週間後ろであれば”日本語サークル”との交流もできたそうです。今度から時期も含め学生交流を再検討していただきたいです。交流が全くないのならタイトルに地域交流と書かないで欲しいです。さらに、帰りの案内に対してメールをいただきましたが、あまりにも案内がなさすぎて自分達は少し困りました。現地の先生が空港まで来てくれるわけでもなかったのも、自分達でなんとかしなくてはなりませんでした。私たちの中に旅行の経験が豊富の人がいなければ解決できませんでした。次回からは現地の先生が空港の手続きを手伝える状況を整えるか、メールの案内など詳しく書いて欲しいです。

- ・全体の感想ー今回の留学で自分の英語が多少なりとも世界に通じることや、人助けもできることが証明されました。自分が今どのような状況下にいるのかの理解と同時に将来のビジョンが少し自分の中で鮮明になった気がします。今回の結果に満足せず永続的に自分の英語力は伸ばしていきたいと思いました。
- ・もう少し現地の人と交流したかったです。
- ・もう少し現地の学生や先生と英語で会話をする時間がほしかった。

ご自身の英語力について、研修前と研修後とを比較していかがですか。

13件の回答



【研修前後での自身の英語力について】

- ・初めはホストファミリーのネイティブ英語が速すぎて6割程度しか聞き取れなかったのですが、後半には9割聞き取れるようになり、マザーと沢山話せた点で英語力の向上を感じました。
- ・英語しか耳に入らない状況だったため留学に来る前に比べて聞く力がついた。
- ・研修前に比べて、英語で喋ってる内容を理解できるようになった。特に日常生活の簡単な英語であればかなり喋れるようにもなった。
- ・スピーキング能力。一度考えてから文章を考え話していたが、それをせずとも感覚でそのまま英語を話せるようになった。
- ・自分の勉強の出来なさや英語の勉強に対してやる気が上がった。
- ・日常的に使える英語を学ぶのではなく、環境問題や現地の文化について英語で説明を受ける授業が中心のため、自分の英語力が向上しているという実感がなかったため。
- ・明確に向上した点は耳がよくなったと感じる。研修前はネイティブや早い英語はほぼ聞き取れなかったが、英語の環境に置かれた事により確実に向上したと感じる。他は英語を喋る際に時間がかかったり、すぐ出てこなかったのが、文章がずっと出てくるようになり、会話が成立する事ができるようになった。
- ・現地の先生とのコミュニケーションとホストファミリーと頻繁に会話をするようにしていた。さらに、どこかに私たちが赴く時は自分から積極的に質問していたから。
- ・なんとかして話そうとする意識や、リスニング能力が向上した。
- ・新しい単語を覚えたりフレーズを学んだ。
- ・2週間毎日英語を聞いていたので少し聞き取れるようになったと思う。

【日本との文化の違いについて】

- ・当たり前ですが、向こうは土足で部屋に出入りするため、お風呂から出た後なども靴を履かなければなりま

せん。そのため、裸足で適当に履く用のサンダルがあると便利です。

- ・オーストラリアは様々な文化が入り交じっており、オーストラリア独自の文化というのが少ない。
- ・最終日、空港に行くバスが 20 分遅れで到着し、後ろのコンテナみたいなところにスーツケースを入れていたが、その扉が開いており、自分らの荷物が放り出されたが、特に謝罪がなく笑っていたこと。
- ・お土産を買うようなお店は基本 17 時に閉まります。そのため、学校の後に行こうとするとあまり時間がありません。しかし、曜日によって営業時間が異なったり、シティのお店は営業時間が長かったりするのでしっかり調べたほうがいいです。もしくは、ホストファミリーに聞いてみるのもいいと思います。
- ・仕事への価値観。日本は仕事中心な人が多いが、向こうの方は仕事は二の次な人が多いと感じた。あとお水。
- ・水が高い。土足で上がってもよい。

以上